

平成29年度埼玉県・クイーンズランド州高校生短期プログラム
奨学生レポート

飯田萌希

オーストラリアのクイーンズランド州マウンテンクreek高校に、埼玉県親善大使として2週間派遣されました飯田萌希です。貴重な体験をさせていただいたので、本レポートを通してこのプログラムで学んだことを伝えたいと思います。

「自然にあふれたクイーンズランド州について」

私が派遣された場所は海の近くだったので海に行く機会が多くありました。冬であるにもかかわらず昼は気温が高くなるので、海水浴やサーフィンを楽しんでいる人がたくさんいました。珍しい鳥が歩いていてとても興味深かったです。

動物園では、放し飼いにされている鳥やカンガルー、コアラ、ワオキツネザルなどの動物たちに会うことができました。特に、カンガルーやコアラに触ることができたのは貴重な体験でした。

学校の環境学の授業では、熱帯雨林の森に行って川の上流と下流の川の性質を調べる課外授業に行きました。川の周りの外来種、国産、それぞれの草木をスケッチして水辺の植物の豊かさを調べたり、虫取り網で川の中の生物を捕獲してその数を数え、水がどれくらいきれいかわかたりしました。岩場や滝があり、とてもきれいな場所でした。ウォーキングに来ている人も、写真を取りに来ている人も大勢いました。



オーストラリア動物園のコアラ



放し飼いにされているワオキツネザル



岩場の奥にある滝



環境学の課外授業で調査した川

「多民族の共生について」

私が派遣されたマウンテンクreek高校には、様々な国籍の生徒がいました。日本だけでなく韓国、中国、フィリピンから学びに来ている人も多かったです。お父さんがマオリ族でニュージーランドから来た友達もいました。短期留学でこの高校に通っている人も多く、ドイツやイタリアなど英語が公用語でない国から来ている人もいました。しかし、オーストラリアの方と変わらないくらい流暢に英語を話しています。みんなと話すことができたおかげで、より他国について知ることができました。また、みんなに日本に興味を持ってもらうことができました。

英語の授業では、英語の本を読んで物語の構成や筆者の考え方について生徒一人一人がプレゼンテーションしていました。英語を母国語としていない方は少し多めに時間をもらってパワーポイントを使って資料を作成していました。質問したいときは全員が英語を使って自主的に発言していてとても良い環境でした。



教室に掲示してあった手を挙げる時のサイン

街中でも、中国や韓国の方が多かったのが印象的でした。ショッピングモールには必ずお寿司のお店が数店舗あり、日本食も人気でした。また、スーパーマーケットには野菜、飲み物、お菓子のなどのコーナーのほかにインターナショナルというコーナーがあり、日本の食材やタイの食材、メキシコ料理のタコスを作ることができるキットなどが並べられていました。



色々な種類のお米



手作りのタコス

「日本、埼玉県の紹介」

マウンテンクリーク高校の高校生は選択授業で日本語かスペイン語を選ぶことができます。私は日本語のクラスに参加させていただいたので日本に興味がある友達に埼玉県のことを話す機会がたくさんありました。特に川越での着物体験と伝統的な街並みに興味を持ってくれました。私のホストシスターは秩父の芝桜に興味を持ってくれて、学校で日本語の先生に紹介したいと言ってくれました。



折り紙や日本の写真が飾られている日本語の教室

また、ホストファミリーと、スイートポテトとお汁粉を一緒に作ったり折り紙や和紙の手紙をプレゼントしたりしました。特に、スイーツとしてのスイートポテトは知らなかったようなので、美味しいといってもらえて嬉しかったです。ドイツからの留学生のお友達にも好評でした。



スイートポテトを食べてくれたホストファミリー

「今回の短期留学で学べたこと」

私はこのプログラムのおかげで貴重な体験をすることができました。その中で、特に感じたのは自分の英語の能力の未熟さです。聞き取ることができなかったときや、聞き返されてしまうことが何度もありました。学校の授業で理解できないことがあった時はホストシスターが教えてくれることが多かったのですが、やはり悔しかったです。さらに英語の学習を頑張らなければいけないという気持ちと、英語で授業を受ける楽しさに気づくことができました。

オーストラリアに住んでいる方の優しさに何度も助けられました。学校では生物学や環境学の時間に実験・調査するための器具の使用方法を分かりやすく教えてくれました。

また、ホストファミリーはオーストラリアンフットボールやネットボールなどのスポーツを見せてくれて、時々ルールや状況を説明してくれました。

2週間という限られた時間でしたが周りの多くの方のおかげでとても充実した密度の濃い滞在でした。この経験を生かして埼玉県に貢献できるように努力していきたいです。また、夢を叶えるため自分を磨いていきたいです。このような貴重な機会をくださり本当にありがとうございました。



日本語クラスの友達



ホストシスターたちと、埼玉県から一緒に派遣された2人と